

# 令和5年度 第3回羽黒地域振興懇談会 会議録

1 日 時 令和5年11月28日(火)午後6時30分～午後8時30分

2 場 所 広瀬地区地域活動センター 講堂

3 出席者 委員 会長 百瀬清昭、五十嵐満委員、丸山三喜男委員、堀誠委員、加藤省二委員  
土岐彰委員、榎本光男委員、小南孝子委員、齋藤一志委員、佐藤恵委員  
羽黒庁舎支所長 伊藤敦、総務企画課長 成沢結花、市民福祉課長 山口えみ、  
産業建設課長 上林喜博、総務企画課長補佐 成澤紀美  
総務企画課主任 山本務  
本所 地域振興課地域振興専門員 齋藤眞一  
政策企画課専門員 佐藤紘司

## 4 会議次第

1. 開 会
2. あいさつ 百瀬会長
3. 意見交換会  
(1) 総合計画後期基本計画(最終案)について  
(2) 羽黒地域振興計画2024(素案)について
4. その他 伊藤支所長
5. 閉 会

## 5 会議資料

- ・【資料1-1】第2次鶴岡市総合計画後期基本計画(最終案)羽黒地域抜粋
- ・【資料1-2】第2次鶴岡市総合計画後期基本計画(10/6時点)羽黒地域抜粋
- ・【資料2-1】羽黒地域振興計画2024(素案)
- ・【資料2-2】羽黒地域振興計画2019

## 6 意見交換会要旨

- (1) 総合計画後期基本計画(最終案)について (羽黒庁舎総務企画課課長補佐説明)

---

### 委員より意見・質問

---

#### 【委員】

成果指標ということで羽黒地域の入込客数や外国人宿泊客数について盛り込んだのは有り難い。

インバウンドの成果指標 2,500人の目標値は、今年の8月か9月で1,500人くらいになるので、何かの施策と絡めて、もっと上を目指してもいいのではないかと。

#### 【産業建設課長】

令和5年10月現在で1,880人くらいとなっており、年末までに2,000人に到達できるかを見込んでいる。令和元年が過去最高で1,400人台だった。この間、500人程度の増加であることから、順調に増加すればということで2,500人と設定した。

**【委員】**

2ページの②、2014年3月にビジョンを策定したとあるが、策定した年度は必要ないのではないかと。川代と変えたとの事だが、川代というのがどういう認知をされているのかわからない。月山ろくと変えた方がイメージしやすい。映画村も月山ろくと言ってしまえば済む。路線バスの廃止に伴いとあるが、今さら言わなくてもいいのではないかと。

**【産業建設課長】**

川代については、前段2つが手向、松ヶ岡と大字単位の記載であったため、合わせて川代とした。形にこだわるより市民に分かりやすい表現が良いということであれば変更を検討する。

**【支所長】**

川代については、場所のイメージがしやすいよう地図に載っている地名に変更した。羽黒地域だけでなく、多くの市民がイメージしやすい標記についてアイデアをいただきたい。

**【委員】**

羽黒地域住民であれば、スーパー農道の上なら川代となるが、月山ろくとした方が一般的に聞きやすい

**【総務企画課長】**

いつ策定したか分かるように策定年を記載したが、委員の皆様が削除しても良いということなら削除する。

**【委員】**

策定年を書くことによって古いと感じてしまうため、外して良いと思う。

**【総務企画課長】**

なぜ市営路線バスが走っているのか理由がわかるように記載している。

利用拡大協議会等の事も載せれば良いのかもしれないが、理由がないことにより、ただ市がやっているのとられないかということで、路線バスが無くなったためと明確にしたわけだがいかがか。

**【委員】**

松ヶ岡については、策定年より歴史的風致維持向上計画受けてということが重要であり、策定年は必要ない。前段の流れは残してほしい。表現には拘らないが、住民の足の確保が非常に困難な中、市営バスの運行は良かったと思う。高齢化の進む中、表現より実際の施策について経路を延伸し、昇降所も増えているので苦勞しているし、頑張っていると見ている。市営バスは継続して欲しいし、他に誇れるものにしてほしい。

【委員】

にこにこバスが毎日通っているが乗っているのを見たことが無い。色々な人が要望を出して路線が広がっていると思うが、ただで運行している訳でもないのに勿体ない。

使う方にタクシー券を渡すとか、必要な方が気軽に使えるようにする施策こそ本来必要なことだ。

にこにこバスの延伸より、もっと気軽に、必要な方が、電話をすればすぐ使えるというのがこれからの時代ではないか。路線バスの項目自体要らないのではないかと思う。

【委員】

路線バスだが、乗る人が中々いないという問題はあると思う。ただ、年寄りから話を聞くと足が無く、ゆぼかに行くために乗りたいという方が非常に多い。あまり遠くまで行く人は居ないと思うが、イベント等あっても足が無くて行けないという方は沢山いる。利用者のニーズを聞いて路線バスの使い方を考えた方が良い。

【委員】

路線バスの廃止という文言は無くても良いと思う。にこにこバスについては、上野新田方面は乗る人が多く、ゆぼかが目的の人が多くという話だった。回数券を買っている人もいるので、何かのタイミングで回数券をプレゼントすることがあっても良いと思う。

【会長】

私も同じ路線だが、医者に行くために乗っている人もいるようだ。次の振興計画にも記述があるが、より効率的な運行というのが非常に大事だと思う。文言はどちらでも良いが、路線バスは残してほしい。

【委員】

④に交通弱者に対する施策と記載があるが、この文面には路線バスをどうするかしか書いていない。

委員の意見にもあったように、他の施策も検討するという文言を入れた方が良い。

今の記載は、バスの利用拡大をどうするかという施策に見えるので、どんなニーズがあるか、色々な施策を検討するという内容にしたらどうか。

【支所長】

私も市営バスについては大きな課題認識がある。

文言の検討については、皆様からの意見を参考にして、検討の余地のある幅の広がるような文書表現にさせていただければと思う。市営バス一択というより交通弱者の方の利便性向上のために様々な検討を今後してい表現にしていく。

【委員】

小麦の拡大によって市内における地消地産とあるが、月山だけでなく羽黒全体で小麦の生産をしていくのか、月山だけで生産していくのか聞きたい。

【産業建設課長】

現在は月山高原中心だが、田んぼでも作付けを進めていただいている。初期なので、排水対策等、上手く

っていないところもあるということだ。米の転作もあり、将来的には月山ろくだけでなく羽黒地域全体でと期待している。

**【委員】**

最終案を読んだが違和感もなく全体的にいい感じだ。

ただ、心配なのはたい肥センターだ。今堆肥が無くなってきていて、色々なところから堆肥が入ってきている状態なので、堆肥の製造を継続していただかないと耕種の方が大変だ。畑をやってみると、いかに堆肥が必要かということがわかる。継続的な支援を願いたい。

**【委員】**

施設整備を施設づくりと変えたようだが何か深い意味があるのか。

**【総務企画課長】**

地域活動センターの計画的な整備修繕というところと文言が重なるため、施設づくりと変えたところであり、深い意味はない。

**【委員】**

最初のページの農業の主な施策の②が月山ろく畑地団地という表現になっている。しかし、後ろの表現が月山高原エリア畑作団地という表現になっている。月山高原エリア畑作団地という表現で統一したらどうか。

**【産業建設課長】**

修正漏れである。

**【会長】**

今回の指摘を反映した最終版は出てくるのか。

**【支所長】**

本日頂いた意見を集約し、2月の地域振興懇談会に示す予定である。

**【政策企画課専門員】**

今後のスケジュールについて説明させていただく。

本日も含めて各地域振興懇談会や分野別の専門委員会が来週くらいで終わるので、12月25日の企画専門員会にこれまでの意見を踏まえた最終案を提案し、2月に予定の総合計画審議会に提出する予定である。基本的に今回いただいた意見で修正し提案させていただきたいと思う。

今後多少の文言の訂正はあるが、基本的に今回が最終協議となる。

他の専門員会のやり方を紹介すると、今回いただいた意見を事務局で取りまとめ修正したものを、委員長と協議し適切に訂正されているかを確認する形となっている。

やり方については羽黒庁舎で検討し、何らかの形で最終形を示したうえで提案したいと考えている。

【会長】

今日の意見を反映した最終形を確認することはできないか。

【総務企画課課長補佐】

本日頂いた意見を基にして修正し、最終形として皆様に配布し確認頂くことはできると思う。そういった形でのよろしいか。

【会長】

頂いた意見を反映し、修正して仕上げてもらいたい。

(2) 羽黒地域振興計画 2024(素案)について (羽黒庁舎総務企画課課長補佐説明)

---

委員より意見・質問

---

【委員】

10 ページに、通過型の観光地であったことが課題であったが、これからは色々な観光地を繋いでいきたいとあるが、その通りだと思う。

しかし、最初の施策に、通過型から周遊型、滞在型への転換とあるが、滞在型といったとき、1ヶ月も滞在するような観光を目指すのか。その受け皿は誰になるのか。

一般的に特定のお客が沢山お金を落とすので滞在型が良いと言われるが、羽黒地域にふさわしいモデルではないのではないかと思う。

【産業建設課長】

滞在という言葉からイメージする長さはそれぞれだと思う。

宿泊を増やすのも1つの方向性だが、大きな課題と思っているのが、羽黒山観光をした方が、どこにも寄らずに湯野浜温泉に行ってしまうとか、その前に羽黒地域にまだまだ見ていただきたい施設があるということ。

玉川寺に寄っていただく、同じ日本遺産である松ヶ岡を經由していただく、農食でお土産を買っていただく等、宿泊までいかななくても、羽黒にある観光地を周遊していただき、現状より長く滞在していただくような方向を、宿泊と合わせて両輪で進めていきたいという考え方で計画を作成している。

【会長】

長期ではないということか。

【産業建設課長】

長期と言っても、1泊を2泊に増やすというのは必要だと思うが、日帰りでも羽黒に長く滞在し、消費行動もしてほしいという思いで記載している。

【委員】

周遊する際、手のひらサイズの散策マップはニーズがあるので作りたいと観光協会に言ったところ、市の方

で作るものだと言われ、羽黒レベルでは作らないようにと言われていた。スマホでみれるものもあるが、紙のニーズもあるので予算を施策に盛り込んでほしい。看板は記載があるが散策マップも検討して欲しい。

**【産業建設課長】**

令和元年に街づくり未来事業で、羽黒地域内の地区を区切ってマップを作成している。それに合わせ、羽黒地内の観光地、飲食店、それらも網羅したマップも作っており、当時は各施設にも配布したが好評をいただき早くなくなってしまった。現在はインターネットでも見れるようになっているが、庁舎には紙ベースで随時置いてあるので活用いただきたい。

**【委員】**

5 ページ映画村の名称だが、あえてスタジオセディック庄内オープンセットとフルネームで記載する必要があるのか。庄内映画村と皆がわかる名称にすれば良いのではないのか。

**【産業建設課長】**

庄内映画村と言えば馴染みはあるが、通称であると思う。

正式な計画の中では正式な名称を使うべきかと思い、最初にスタジオセディック庄内オープンセットとし、以下映画村という形で作っている。

**【委員】**

正式名称は出さなければいけないのか。通称では駄目なのか。受ける印象はどうか。

**【委員】**

私はどちらでも良いと思っていた。

(1) で訂正のあった文言はこちらにも反映させるのか。

**【産業建設課長】**

反映させているが、気づいた点あれば指摘して欲しい。

**【委員】**

商工会から出席しているが、商工業が文言として一言も入っていないのが残念。商工業の地域振興は何もないのかと気になった。

**【産業建設課長】**

2019 年の計画をベースに補強、修正していったが、視点が欠けており大変申し訳ない。

**【委員】**

鶴岡市全体の計画として商工業の計画はどうか。

**【産業建設課長】**

鶴岡市総合計画の中では商工業の事も出てくるので、この計画から除外されているということではないという認識でいる。羽黒地域独自で何か商工業の施策をというのがなかった。

**【会長】**

鶴岡市全体の施策として商工業というのはあるが、羽黒地域の施策として商工業というのが表に出てこないということか。

**【産業建設課長】**

地域の計画についても総合計画に基づき作成しており、市全体の総合計画については分野別に検討しているので、その中で対応できるのではないかと考えている。

**【委員】**

松ヶ岡に関して、あちこちに表現が出てきてありがたい。滞在型や周遊型とあるが、松ヶ岡だけでは滞在も周遊もできないので、羽黒の観光地の1つというらえ方をさせていただきたい。

松ヶ岡の支援等と載っており、いつまでも立ち立ちできないと思われる表現だが、我々も独自にやっておき、立ち立ちできるように考えているので宜しくお願いしたいと思う。

12 ページの農観連携の中で、そのインターネットを活用したとあるが、そのは要らないのではないかな。

**【産業建設課長】**

その文言は必要ないので削除する。

**【委員】**

計画策定の趣旨のところだが、しかしながら以降について、もっと身近なことを取り上げる内容にしたらどうか。

**【支所長】**

コロナウイルス感染症や災害の頻発に加えて、今回、海外での紛争等あり、観光業にも農業にも大きな影響があるだろうことから表現に加えた。身近なところでコロナウイルス感染症や自然災害と並ぶような大きな変化があったかは記憶を呼び起こして考えたい。2 ページ以降の課題や方向性と関連できる事象があれば変更するなど考えたいと思う。

**【委員】**

これだと地球を取り巻く環境はとか、世界を取り巻く環境はと感じる。地域を取り巻く環境というのは、石油価格が高騰し大変だとか、賃金が上がらず生活が苦しい等、身近なものが良いと思う。

**【会長】**

その辺も踏まえて検討いただきたい。

**【委員】**

12 ページ②の農観連携による産直やネット販売等の検討について、松ヶ岡しか書いていないが手向地区でもそういった活動があっても良いのではないかと。

**【産業建設課長】**

ここには松ヶ岡と記載してあるが、手向も大きな柱なので、どういった記載が出来るか検討する。

**【委員】**

計画はおおむねこれで良いのではないかと。

計画を実施するにあたり、地域協力隊や羽黒高の若い感性を利用できないかと。

**【総務企画課長】**

現在、杉並木の事業を行っているが、その際に羽黒高生にアンケートを取ったり、話を聞かせて頂いたりしている。計画には出てこないが、実施の段階では高校生、中学生の意見も聞きながら進めていきたい。

**【委員】**

特に変更して欲しい所は見当たらない。

10 ページに農業従事者の高齢化により今後 10 年以内にもとあるが、農業の問題だけでなく市民全体の問題だと思うので、10 ページの主な施策に、市民から気づいてもらえる文言が入ればよいと思う。

トータルで異論はない。

**【会長】**

11 ページの目標地図に肉付けしてもらおうとよいと思う。

**【産業建設課長】**

現状の人農地プランが机上の物になっている感は否めないが、地域計画がその二の舞にならないようにしたいと思っている。

会長から話のあった目標地図は、分散している圃場を集約するというものだが、以前の人農地プランよりは興味を持ってもらえる 1 つの要素だと思っている。地域計画を策定するにあたり分散圃場を集約する目標地図を皆様に話したい。

担い手が居なくなれば土地利用型作物の普及は必須となってくるので、そういった面でも小麦の拡大というのは支援していければと考えている。

**【委員】**

農家の後継者不足ということで、米だけでなく柿も手付かずという農家が沢山ある。農家もこれから人手不足等色々出てくるが、皆で話し合っ解決する方法を見つけていかなければならないと考えている。

**【委員】**

現在認定新規就農者になっているが、農家になろうとした時が大変で、女性で 1 人ということで本当にやれるのかということで市役所とかなり話をした。現在認定を受けて農業をしているが、古いこの村にあるシー

ズの人でも自分で農家を始めるのは大変だと聞いた。

羽黒地域で離農がそれだけ多いのであれば、離農する方の下で勉強して受け継ぐような制度があれば良いと思う。離農する方がどう思っているか聞きたい。

**【会長】**

今、4地区でビジョンを策定しているが、策定した後のアクションプランが大事だと思う。アクションプランについて付け加えて欲しい。

**【委員】**

民生委員の立場から。

3年くらい独り暮らしの高齢者にヤクルトを届けている。最初は8人くらい居たが今は1人だ。農家だけでなく世帯を次に担う方が不足している。危機的な状況だと痛感している。

**【委員】**

交通弱者ということは買い物弱者にもなるということで、12ページに買い物や通院時に利用する交通手段の確保とある。バスの充実も1つの手段だが、買い物弱者対策ということで、行かなくても買える方法を。先程の委員の商工業にもかかわってくると思うが、店をやれないのであれば、移動販売の充実ということで、羽黒地域で後押しするような支援を。交通と一緒に良いのか分からないが、交通弱者＝買い物弱者ということで施策に取り上げても良いのではないか。

**【地域振興課専門員】**

現在、買い物弱者対策という形で市の地域振興課が取り組み始めている。きっかけは、温海地域の山戸のJAが撤退し、スーパーが令和に入って3軒撤退したということである。今、温海地域ではとくし丸という移動販売車が、浜温海のAコープから荷物を積み、山間部の方に持って行っている。現在、鶴岡地域全体の移動販売の状況を地域振興課で調べ、地域包括支援センターとも連携し、どういった対策が打ち出されているか把握している最中であり、今後どういった対策をすればいいのか検討している。

買い物支援は、交通を利用し、自分で出かける、又は物を持ってくるというのが大きな2つのパターンになるので、それも含めて対策していきたいと思っている。

温海と朝日の話が合ったが、以前森の産直カーと海の産直カーというものが用意された。山菜や海の物を市街地の各所や山王ナイトバザール等で売っているという例もある。朝日の車については産直グー、温海の車についてはしゃりんの方に配置されていると聞いている。

**【会長】**

にこにこバスについて、高校生が活用しているということはないか。

**【総務企画課長】**

高校生の利用については、今の運行が1日おきになっていることから、毎日ではないため厳しいといったところだ。

今月、沿線住民の方にアンケートを取り、高校生のいるご家庭に、もし毎日運行なら使うか、と取らせてい

ただいている。ニーズの調査をしているところだ。

**【会長】**

農業関係でブランドづくりという表現があるが、具体的に羽黒のイメージの膨らむような農産物のブランドづくりもあって良いのではないか。

観光では交流人口とあるが、移住、定住の中に関係人口という言葉が無い。移住定住の中に、羽黒の自然を活用したり、1小の校舎を利用したりする関係人口があっても良いのではないかと思う。

郷土愛ということもでていますが、子供に色々な体験をしてもらい、1回出ても帰ってくるような、回帰可能な、地域を担うような仕組みができないか。

7 その他

---

委員より意見・質問

---

**【委員】**

8月23日に羽黒地区の各会長が集まり、鶴岡市に要望書を出したが回答が出てこない。どうなっているのか。

泉地区活動センターの再整備について市長に9月14日に提案した。時間がたったが、回答等どうなったか聞こえてこない。出しっぱなしでどうなっているのかという意見も出るので、現在分かっている範囲で要望書の回答を教えて欲しい。

この間、何回か会議があり、支所長から回答書は作成中だと聞いており、心強く思うがお聞きしたい。また、市の方にも強く進めて欲しい。

**【総務企画課長】**

要望書に対する回答が遅れている事、大変申し訳ない。

回答については、現在鋭意検討、作成している。予算的なことについては明記できないことが多々あり、日程的なことについても庁内、庁外含めて調整を進めているところである。

いつどうなるということは明言できないが、近々文書として提出したいと思っているので、もうしばらくお待ちいただきたい。

**【委員】**

免許を返納すると5,000円分のタクシー券か、にこにこバスの回数券を貰える。

しかし、庄内交通では免許返納の身分証明を持って行くと定期券が2割程度で買えるとの事だ。

回数券を購入する際、免許返納者については、1割か2割、負担してもらえないか。

この間クーポン券は貰ったが、そういった対策はできないか。

**【地域振興課専門員】**

今の話は庄内交通で行っている、70歳以上、若しくは免許返納者が購入することが出来るゴールドパスと言われる制度で、約10,000円の定期券が2,550円で買えるといったもので、にこにこバスでも使えるようになっている。防災安全課とこちらの連携不足で大変申し訳ないが、にこにこバスでもゴールドパスを提示するこ

とで1ヶ月乗り放題になる。鶴岡駅やエスモールバスターミナルまで行き、乗り換えることで、酒田や温海等、庄内交通管内であればどこまでも行くことが出来るといったお得な定期券になっているので、こちらでも周知に努めるがぜひ活用願う。

**【委員】**

誰も知らないと思うので資料を願う。

**【地域振興課専門員】**

承知した。

庄内交通のゴールドパスは、藤島のデマンド以外、羽黒、櫛引、朝日、温海の市営バス等と庄内交通の路線バスで使えるフリーパスとなっており、元々交通施策で進めていた、これ1枚あればどこでも行けるといった交通環境を作り出すために実施してきたものとなっているので、こちらの周知が不足していたと思うが、是非周りの方々にもお知らせ頂きたい。

以上。